

「伝統と文化」を軸にした学習【試案】

○ 第1学年 生活科（上） 単元名「きせつとあそぼう（ふゆ）」単元計画及び学習指導略案

第1学年 生活科（上） 単元名「きせつとあそぼう（ふゆ）」 案

時数及び実施時期：（7時間）1月～2月

◇本単元の目標

- ・冬の自然と触れ合い，自然の変化や不思議さを感じ取り，遊びや生活を楽しもうとする。
- ・季節の変化を自分たちの生活と関連付け，冬の自然を使って遊びを工夫し，遊んだことや遊びを通して楽しかったこと，気付いたことなどを表現することができる。
- ・冬の自然と触れ合い，楽しく遊びながら，季節の変化や遊びの楽しさ，自然の不思議さなどに気付くとともに，1年を通して自然と触れ合う遊びの楽しさや不思議さ，季節の変化と遊びや生活の変化を実感し，活動を通して，自分や友達のよさに気付く。

⇒ここで一工夫！！

主な内容としては，(5)季節の変化と生活(6)自然や物を使った遊び(8)生活や出来事の交流(9)自分の成長があげられている。

本単元の目標では，季節の変化を自分たちの生活と関連付け，冬の自然を使って遊びを工夫し，遊んだことや遊びを通して楽しかったこと，気付いたことなどを表現することがあげられている。

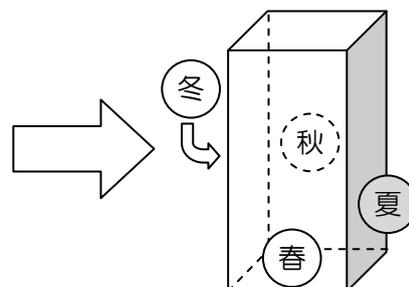
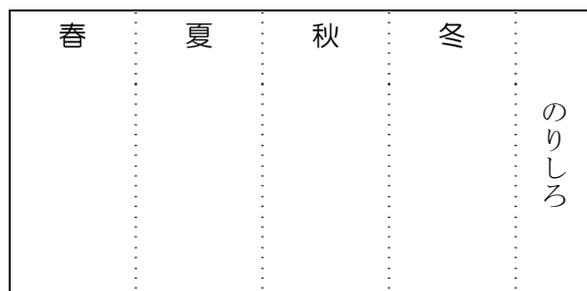
そこで，第7時においては，前時までに伝承遊びを体感したり，地域の方から伝承遊びについての話を聞いたりしたことから，気付いたことや楽しかったことを「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」にかき表すことを単元末に位置付ける。それを校内や家庭で紹介することで，地域には伝承遊びを得意にしている人がいることや「かるた」「こま回し」「缶けり」等が伝承遊びであることを再確認することができるようにする。



本単元における児童の気付きを「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」で保護者に伝えることで，「かるた」「こま回し」「けん玉」といった遊びが「伝承遊び」であることを児童と保護者が共に再確認するきっかけになると考える。更に，「また，家でもやってみよう。」や「伝承遊びは他にもあるよ。例えば『ビー玉』や『紙風船』も伝承遊びだよ。」といった話題が出ることも期待できる。

*「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」

→四角柱の長方形の面に「春」「夏」「秋」「冬」ごとに学び，楽しかったことや気付いたことをかき表す。



*単元の評価規準については，本市指導計画をご参照ください。

上-3 きせつとあそぼう -ふゆもげんきに-

7時間

ふれる
1時間

なつとちがって、ふゆにはゆきがふるよ。
冬がやってきたね。
なつは、アイスクリームやかきごおりなどのつめたいものを食べるけれど、ふゆは、あたたかいものを食べるのがおいしいね。

なつとふゆをくらべよう。

なつは、はんそでやはんズボンが多いね。でも、ふゆは、ながそでをきたり、ながズボンはいたりしているね。
なつにきるものは、シャツーまいだけのときもあったけれどふゆは、たくさんきているね。

なつはせんぼうきをだしているね。でも、ふゆは、こたつをだしているよ。
もっと、がっこうやこくくの「ふゆ」を見つけないね。

つかむ
2時間

がっこうやこくくの「ふゆ」を見つけよう。

きょうしつはあたたかいけれど、ろう下にでるとさむい。
かぜがビューとふくと、とてもさむい。
かだんの石をうらがえしたら、ミミズがいた。

耳をすまそう
よく見よう
さわってみよう
においをかごう

「〇〇のみち」のさくらのきにははなもはっぱもついていなかったね。
ガードレールをさわるとつめたかった。

こうえんのすみのおちばをのけるとダンゴムシがいたよ。
「ふゆ」というきせつをよりのしくするには、どうすればよいか。

むかう
3時間

「ふゆ」というきせつをよりのしくするには、どうすればよいだろう。

あそぶとたのしい。
からだをうごかすとよいとおもうよ。

ふゆとあそぼう。

「だるまさんがころんだ」をする。
「かんけり」をする。
「こままわし」をしてあそぶ。
「こままわし」や「けんだま」、「だるまさんがころんだ」などを「でんしょうあそび」というのだね。

「かげふみ」をしてあそぶ。
「あやとり」をしてあそぶ。

「かるた」をしてあそぶ。
「けん玉」がとてもじょうずだよ。だから、ぼくもじょうずになりたい。ちいきのかたや〇〇さんは「けん玉」ができてよかったよ。もっとれんしゅうして、「けん玉」ができるようになりたいな。

うんどうじょうで「かんけり」をしたり、きょうしつで「けんだま」や「こままわし」をしたりしてあそぶとよいとおもうよ。
「すごろく」をしてあそぶ。
「けんだま」をしてあそぶ。

生かす
1時間

「きせつとあそぼう」のがくしゅうでたのしかったことやきづいたことをふりかえろう。

「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」
「はる」「なつ」「あき」「ふゆ」ごとにまなび、たのしかったことやきづいたことをかきあらわす。

はる	なつ	あき	ふゆ
のりしろ			

はる、なつ、あき、ふゆ
あき、なつ、はる

ぼくは、はる、なつ、あき、ふゆでいえやがっこうのまわりのけしきがかわったり、あそびがちがったりすることにきづきました。
ふゆのあそびではでんしょうあそびをしました。ちいきのかたや〇〇さんから「こま回し」をおそわって、ぼくも〇〇さんのように「こま回し」をたのしみながら、うまくなりたいとおもいました。うまくなるようになったら、1年生につたえたいです。

◇本単元の展開（全7時間）

時	学習活動（◇）と子どもの反応（・）	必要な教材など（◆） 「伝統と文化」に関わって必ず提示する教材（㊤）	支援（*）留意点（○） 評価 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊤及び 太字ゴシック で示す。】
1	<p>◇春と夏と秋の様子（既習事項）を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春は、タンポポが、たくさん咲いていたよ。 ・春は、草むらで、テントウムシを見つけたよ。 ・夏は、セミが、いっぱい鳴いていたね。 ・夏は、水で遊ぶと、冷たくて気持ちよかったね。 ・秋は、イチョウの葉っぱが黄色になっていたね。 ・秋は、どんぐりを回して遊んだね。 <p>◇夏と冬のくらしを比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏は扇風機を出しているね。でも、冬（いま）は、こたつを出したり、エアコンをつけたりしているよ。 ・夏は、アイスクリームやかき氷などの冷たいものを食べるけれど、冬（いま）は、あたたかいものを食べることが多いね。 ・夏とちがって、冬には雪がふるね。 ・夏の服装は、半そでや半ズボンだね。でも、冬（いま）は、長袖を着たり、長ズボンをはいたりしているよ。 ・夏に着るものは、シャツ一枚だけのときもあったけれど、冬（いま）は、学校に来るときや家に帰るときに、服をたくさん着ているよ。 ・冬のことをもっと知りたいな。 <div data-bbox="220 1937 730 2040" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>がっこうや こうくの 「ふゆ」を見つげよう。</p> </div>	<p>◆「きせつとあそぼう（はる）」「きせつとあそぼう（なつ）」「きせつとあそぼう（あき）」の学習で用いたワークシート（あるいはノート）</p> <p>㊤春・夏・秋、それぞれの季節において、学校や校区で撮った写真資料</p> <p>◆板書用（あるいは側面用）の掲示物</p> <div data-bbox="762 1205 1074 1447" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>くらべるときにつかってみよう！</p> <p>「～でも、…。」</p> <p>「～けれど、…。」</p> <p>「～とちがって、…。」</p> </div> <p>㊤本単元に入る直前に撮影した学校や校区の写真資料（冬）</p>	<p>*既習事項（学習での気づき）を振り返ることで、冬見つけへの関心をもつことができるようにする。</p> <p>*既習事項や生活経験を基にして、夏と冬のくらしや夏と冬の服装の違いを比べることで、季節の移り変わりに伴って、くらしの様子が変わること気が付くことができるようにする。</p> <div data-bbox="1098 1496 1437 1686" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【生活への関心・意欲・態度】 冬の自然の様子や生活の様子に関心をもとうとしている。 (行動観察・発言分析)</p> </div> <p>㊤本単元に入る直前に撮影した学校や校区の写真資料を板書に示すことで、「学校や校区の冬をたくさん見つける」という意欲をもつことができるようにする。</p>

<p>2</p>	<p>◇学校の「冬」を見つける。 「校舎で見つけた冬」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蛇口から水を出したら、とても冷たい。 ・保健室をのぞいたら、暖房でとてもあたたかかったよ。 ・教室はあたたかいけれど、廊下に出ると寒いね。 <p>「校庭や運動場で見つけた冬」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭の池を見ると、氷がはっているよ。 ・鉄棒や総合遊具をさわると冷たいよ。 ・風がピューとふくと、とても寒いね。 <p>◇見つけた学校の「冬」について、「きづきカード（がっこうのふゆ）」に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしが見つけたがっこうのふゆは、こうえんのいけのこおりです。さわってみるとれいぞうこのこおりのようにつめたかったです。 ・ぼくが見つけたがっこうのふゆは、つめたいてつぼうです。なつはさわれないくらいあつくなっていたこともあったけれど、ふゆにさわるととてもつめたかったです。こうえんのでつぼうもつめたいのかなとおもいました。 	<p>◆板書用の掲示物（カード）</p> <p>「耳をすまそう」「よく見よう」「さわってみよう」「においをかごう」</p> <p>◆探検ボード</p> <p>◆ワークシート</p> <p>◆本単元に入る直前に撮影した学校の写真資料（校舎内、校庭、運動場）</p> <p>◆「きづきカード（がっこうのふゆ）」</p>	<p>* ワークシートに校内図を載せておくことで、「校舎で見つけた冬」「校庭で見つけた冬」といったように分類・整理することができるようにする。</p> <p>* 「きづきカード（がっこうのふゆ）」を用いることで、児童が本時の「学習のめあて」に対する気付きを振り返ることができるようにする。</p> <div data-bbox="1098 786 1433 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【身近な環境や自分についての気付き】 学校の中を探検し、「冬」の自然に気付いている。 (行動観察・ワークシート)</p> </div>
<p>3</p>	<p>◇校区の「冬」を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道を渡るときにガードレールをさわるとガードレールもつめたかったよ。 ・〇〇山を見ると、雪がつもっているね。 ・公園でも虫を見ないね。 <p>◇見つけた校区の「冬」について、「きづきカード（こうくのふゆ）」に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしが見つけたこうくのふゆは、「〇〇のみち」のさくらの木です。はるにはさくらのはながいっぱいさいていたけれど、ふゆははっぱもついていないことにきづきました。 ・ぼくはこうえんでてつぼうをさわりました。こうえんのでつぼうはうんどうじょうのでつぼうとおなじでつめたかったです。ふゆはてつぼうがつめたくなることにきづきました。 	<p>◆本単元に入る直前に撮影した校区の写真資料（学校から公園まで4場面、公園）</p> <p>◆「きづきカード（こうくのふゆ）」</p>	<p>㊦ ワークシートに校区地図を載せておくことで、「校区で見つけた冬」と意識して整理することができるようにする。</p> <p>㊦ 「きづきカード（こうくのふゆ）」を用いることで、児童が本時の「学習のめあて」に対する気付きを振り返ることができるようにする。</p> <div data-bbox="1098 1794 1433 1984" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【身近な環境や自分についての気付き】 校区を探検し、「冬」の自然に気付いている。 (行動観察・きづきカード)</p> </div>

<p>4 (事例①)</p>	<p>◇「冬」という季節をより楽しくするには、どのような遊びをすると良いかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬は寒いから、体があたたまる遊びをすると良いと思うよ。例えば、「だるまさんが転んだ」をすると良いと思うよ。 ・「影ふみ」をして遊んでも良いのではないかな。 ・お兄ちゃんが1年生のときに「缶けり」をして楽しかったと言っていたから、「缶けり」をやってみたいな。 ・家族で「かるた」をしたことがあるよ。 ・「すごろく」だったら教室でできるね。 ・「けん玉」は難しそうだよ。上手にできるかな。 ・「こま回し」も冬の遊びなのだね。どのようにして回すのかな。 ・どの遊びもやってみたいな。 	<p>◆「たとえばカード（ふゆのあそび）」</p> <p>◆側面用の掲示物</p> <div data-bbox="766 291 1077 436" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>れいをはなすときにつかってみよう！「たとえば～」</p> </div> <p>㊦実物あるいは画像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けん玉 ・こま回し 	<p>㊦外遊びについての意見が続く際には、「なるほど。運動場ですると楽しそうな遊びですね。では、教室でできるような遊びには、どのようなものがあるだろう。」と問いかけることで、「あやとり」「けん玉」「こま回し」等の伝承遊びにも視点を向けることができるようにする。</p> <div data-bbox="1093 739 1428 996" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【生活への関心・意欲・態度】 冬の自然を生かした遊びや伝承遊びに関心をもち、どんな遊びをするか考えようとしている。 (発言分析・ワークシート)</p> </div>
<p>5・6 (事例②)</p>	<p>◇体育館で「かるた」「けん玉」「こままわし」を、運動場で「だるまさんが転んだ」「影踏み」「缶けり」を楽しむ。</p> <div data-bbox="231 1187 574 1545" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>㊦遊びの道具 「こま…10個」「ひも…10本」 「かるた…3箱」「けん玉…10個」 ※実際の個数については、各学校が生活科ルーム等で保管している個数に応じる。ここでは、上記の数とする。</p> <p>◆空き缶</p> </div> <div data-bbox="582 1153 1069 1579" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆体育館の図</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ちいきのかたや〇〇さんは「けん玉」がとてもじょうずでした。ぼくもじょうずになりたいくてちいきのかたにおしえてもらいました。もっとれんしゅうして、「けん玉」ができるようになりたいです。 ・「こままわし」のとき、こまにひもをしっかりとかまきつけないといけないことに気づきました。すこしだけこまをまわすことができうれしかったです。 	<p>㊦「きづきカード（でんしょうあそび）」</p>	<p>㊦学習の場及び活動の順番を提示することで、全児童が「こま回し」「かるた」「けん玉」を体験することができるようにする。</p> <p>○「こま回し」「けん玉」などの遊び方・技に気付くようにする。</p> <p>㊦「きづきカード（でんしょうあそび）」を用いることで、伝承遊びに対する気付きを振り返ることができるようにする。</p> <div data-bbox="1093 1803 1428 2049" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【活動や体験についての思考・表現】 伝承遊びに関して、遊ぶものや遊びを工夫したり、友だちと楽しく遊んだりしている。 (行動観察・きづきカード)</p> </div>

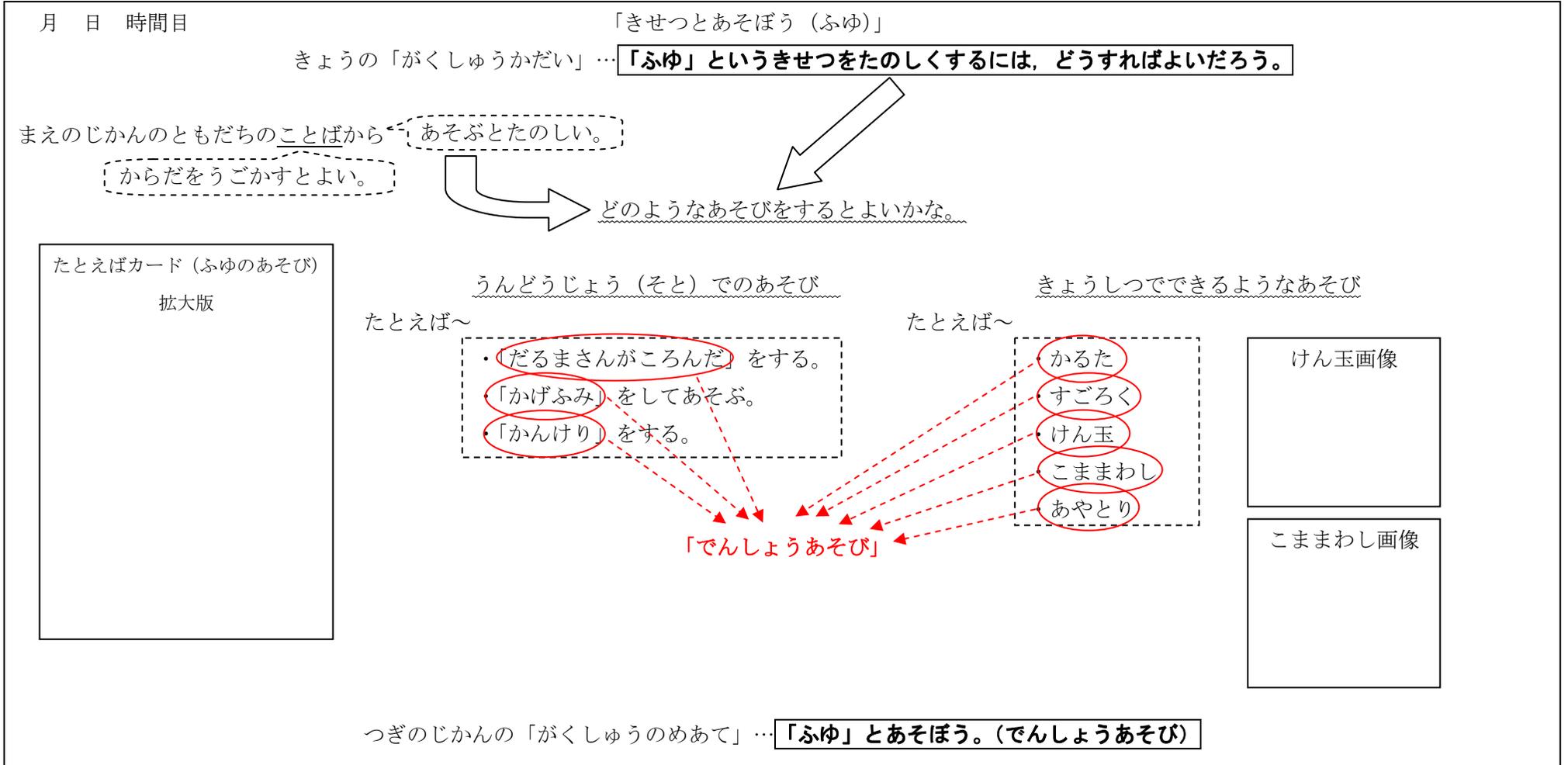
<p>7 (事例③)</p>	<p>◇単元「きせつとあそぼう」で学び、楽しかったことや気付いたことを「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」にかき表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、はる、なつ、あき、ふゆでいえやがっこうのまわりのけしきがかわったり、あそびがちがったりすることにきづきました。 ・わたしは、はる・なつ・あき・ふゆのきせつがあっていいなあということにきづきました。だって、きせつにあったしぜんを見ることができたり、あそびができたりするからです。 ・ふゆのあそびではでんしょうあそびをしました。ちいきの〇〇さんから「こま回し」をおそわって、ぼくも〇〇さんのように「こま回し」をたのしみながら、うまくなりたいとおもいました。うまくできるようになったら、1年生につたえたいです。 	<p>◆「きせつとあそぼう(はる)」「きせつとあそぼう(なつ)」「きせつとあそぼう(あき)」「きせつとあそぼう(ふゆ)」の学習で用いたワークシート(あるいはノート)</p> <p>㊦春・夏・秋・冬、それぞれの季節において、学校や校区で撮った写真資料</p> <p>㊦きせつとあそぼう「しゅんかしゅうとう」カード</p>	<p>㊦「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」の使い方がびどのようになるのかを見通したうえで、活動に取り組むことができるようにする。</p> <div data-bbox="1093 795 1436 1086" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【身近な環境や自分についての気付き】 季節によって自然の様子や生活・遊びが変わることに気付いている。 (きせつとあそぼう「しゅんかしゅうとう」カード)</p> </div>
--------------------	---	---	---

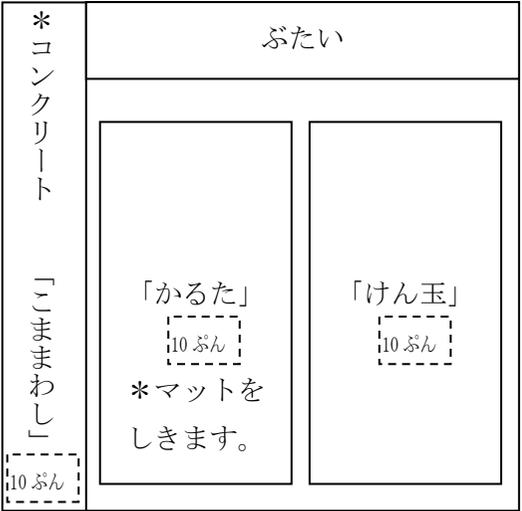
- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「きせつとあそぼう (ふゆ)」
- 3 本時の目標 冬の自然を生かした遊びや伝承遊びをすることができる。
- 4 本時の展開 4 / 7 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊟及び 太字ゴシック で示す。】
1 本時の「学習のめあて」を確かめる。 2 冬の自然を生かした遊びや伝承遊びを考える。	◇今日の「学習課題」は何でしたか。 ・『「ふゆ」というきせつをよりのしくするにはどうすればよいだろう。』です。 「ふゆ」というきせつをよりのしくするには、どうすればよいだろう。 □そうでしたね。前の時間、この「学習のめあて」について、○○くんが「体を動かすと良いと思う。」と言ったり、○○さんが「遊ぶと楽しいと思う。」とつぶやいたりしていましたね。 ◇「冬」という季節をより楽しくするには、例えば、どのような遊びをすると良いと思いますか。 ・冬は寒いから、体があたたまる遊びをすると良いと思うよ。例えば、「だるまさんが転んだ」をすると良いと思うよ。 ・「影ふみ」をして遊んでも良いのではない	◆「たとえばカード (ふゆのあそび)」拡大版 ◆「たとえばカード (ふゆのあそび)」	* 前時に本時の主な学習活動と「学習のめあて」を知った際には、児童から「体を動かしたら良いと思うよ。」「遊んだら良いと思うよ。」といった発言が出るのが想定できる。それらを本時に生かすことで、『冬』という季節をより楽しくするには、例えば、どのような遊びをすると良いのか。」について具体的に考えることができるようにする。 * 「たとえばカード (ふゆのあそび)」を用いることで、「例えば～をして遊ぶと良いのではないかな。」「例えば～がある。」といったように児童が思い浮かべた冬の遊びを表出することができるようにす

<p>3 次時の主な学習活動と「学習のめあて」を知る。</p>	<p>かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お兄ちゃんが1年生のときに「缶けり」をして楽しかったと言っていたから、「缶けり」をやってみたいな。 <p>◇なるほど。運動場ですると楽しそうな遊びですね。では、教室でできるような遊びには、どのようなものがあるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか思い浮かばないなあ。 ・家族で「かるた」をしたことがあるよ。 ・「すごろく」だったら教室でできるね。 ・「けん玉」上手にできるかな。 ・「こま回し」も冬の遊びなのだね。 ・どの遊びもやってみたいな。 <p>□次の時間は、みんなで冬の遊びをしましょう。学習のめあては「『冬』と遊ぼう。(伝承遊び)」です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが話していた「だるまさんが転んだ」「けん玉」「こま回し」などは「伝承遊び」というのだね。 ・僕は「けん玉」で遊びたいです。 ・私は「こま回し」がとても楽しみです。 	<p>◆側面用の掲示物</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>れいをはなすときにつかってみよう！ 「たとえば～」</p> </div> <p>㊦実物あるいは画像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けん玉 ・こま回し 	<p>る。(思考を引き出す)</p> <p>㊦外遊びについての意見が続く際には、「なるほど。運動場ですると楽しそうな遊びですね。では、教室でできるような遊びには、どのようなものがあるだろう。」と児童の考えを受けとめ、問いかけることで、「あやとり」「かるた」「けん玉」「すごろく」「こま回し」等の伝承遊びにも視点を向けることができるようにする。</p> <p>㊦「けん玉」「こま回し」等は、児童から出にくいことが想定できる。そこで、実物あるいは画像を用意しておくことで、それらが冬の遊びであることに気付くことができるようにする。「だるまさんが転んだ」「影ふみ」「缶けり」「けん玉」「こま回し」等を〇でかこみ、伝承遊びということを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【生活への関心・意欲・態度】 冬の自然を生かした遊びや伝承遊びに関心をもち、どんな遊びをするか考えようとしている。 (発言分析・ワークシート)</p> </div>
---------------------------------	---	---	--

5 板書計画



<p>し」を楽しむ。</p>	<p>□「だるまさんが転んだ」「影踏み」「缶けり」をして遊びましょう。</p>	<p>◆体育館の図</p>  <p>◆活動の順番</p> <p>かつどうのじゅんばん</p> <p>1・2はん…「こままわし」⇒「かるた」 ⇒「けん玉」</p> <p>3・4はん…「かるた」⇒「けん玉」 ⇒「こままわし」</p> <p>5・6はん…「けん玉」⇒「こままわし」 ⇒「かるた」</p> <p>㊦遊びの道具</p> <p>「こま…10個」「ひも…10本」「かるた…3箱」「けん玉…10個」</p> <p>※実際の個数については、各学校が生活科ルーム等で保管している個数に応じる。ここでは、上記の数とする。</p>	<p>にこまを投げないこと、けん玉を振り回さないことといった安全面についての指導を行う。また、「かるた」で遊ぶ際には、爪がのびていると危ないので、学年あるいは学級のお便り等で予め爪を切っておくことを保護者にも連絡しておく。</p> <p>○それぞれの活動は、「10分間」であることを伝えると共に、時間の管理は指導者が行う。</p> <p>○「こま回し」「けん玉」などは、昔から遊ばれているものであることに気付くようにする。</p> <p>㊦地域の方に来ていただくことができたときには、地域の方に「こま回し」「けん玉」を使って遊んでいたときの様子や伝承遊びが受け継がれてきているものであることを話していただくよう依頼しておくことで、伝承遊びに対する気付きが高まるようにする。⇒話の内容は記録し、教室の側面に掲示することで、第7時のまとめに生かす。</p> <p>○活動の様子を画像として記録する。</p> <p>○それぞれの活動は、「12分間」であることを伝えると共に、時間の管理は指導者が行う。</p> <p>○「だるまさんが転んだ」⇒「影踏み」⇒「缶けり」の順で活動する。</p> <p>○活動の様子を画像として記録する。</p> <p>○片づけをした後、教室に戻り、学習の振り返りを</p>
<p>3 運動場で「だるまさんが転んだ」「影踏み」「缶けり」を楽しむ。</p>			

<p>4 片づけをした後、教室に戻り、学習を振り返る。</p>	<p>◇『『冬』と遊ぼう。(伝承遊び)』の学習をして、どのようなことに気づきましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ともだちと一しょに「かるた」ができたのしかったです。 ・ちいきのかたや〇〇さんは「けん玉」がとてもじょうずでした。ぼくもじょうずになりたいくて〇〇さんにおしえてもらいました。もつとれんしゅうして、「けん玉」ができるようになりたいです。 ・「こままわし」のとき、こまにひもをしっかりとまきつけないといけないことにきづきました。すこしだけこまをまわすことができうれしかったです。 ・「だるまさんがころんだ」をしてからだがあたたかくなりました。 ・「かげふみ」をしたときに、おにからひっしでにげたので、さむいことをわすれました。からだがぼかぼかしました。 ・「かんけり」では、おにに見つかることなく、かんをけることができうれしかったです。とてもたのしかったです。 	<p>◆空き缶</p> <p>㊦ 「きづきカード (でんしょうあそび)」</p>	<p>することを伝える。</p> <p>㊦ 「きづきカード (でんしょうあそび)」を用いることで、伝承遊びに対する気づきを振り返ることができるようにする。</p> <div data-bbox="1467 805 2110 997" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【活動や体験についての思考・表現】</p> <p>伝承遊びに関して、遊ぶものや遊びを工夫したり、友だちと楽しく遊んだりしている。</p> <p style="text-align: center;">(行動観察・きづきカード)</p> </div> <p>○「きづきカード (でんしょうあそび)」については、児童の活動の様子を記録した画像のまわりに貼り、側面あるいは背面に掲示する。</p>
---------------------------------	--	--	--

5 板書計画 (移動式のホワイトボードあるいは黒板)

月 日 時間目

「きせつとあそぼう (ふゆ)」

きょうの「がくしゅうのめあて」…「ふゆ」とあそぼう。(でんしょうあそび)

*がくしゅうかつどうのながれ

○じかんめ…ばしょ: たいいくかん

でんしょうあそび: 「かるた」

「けん玉」

「こままわし」

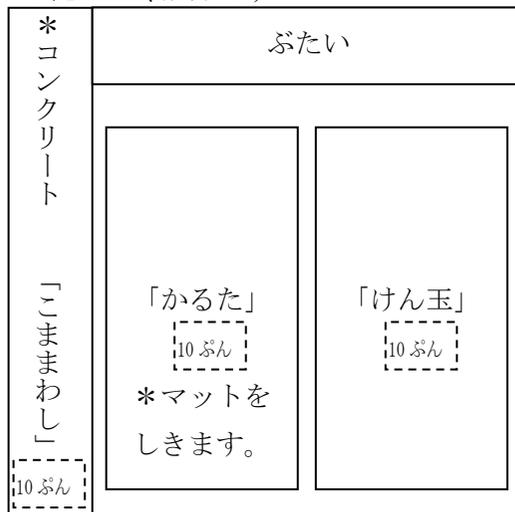
○じかんめ…ばしょ: うんどうじょう

でんしょうあそび: 「だるまさんがころんだ」

「かげふみ」

「かんけり」

*たいいくかんのず



かたづけをする。⇒きょうしつにもどる。⇒ふりかえる。

- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「きせつとあそぼう (ふゆ)」
- 3 本時の目標 「きせつとあそぼう」で学び、楽しかったことや気付いたことを振り返ることができる。
- 4 本時の展開 7 / 7 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊟及び 太字ゴシック で示す。】
1 本時の「学習のめあて」を知る。	<p>□みなさんはこれまで『きせつとあそぼう (はる)』『きせつとあそぼう (なつ)』『きせつとあそぼう (あき)』『きせつとあそぼう (ふゆ)』の学習をしてきましたね。今日の学習のめあては『きせつとあそぼう』の学習で楽しかったことや気付いたことを振り返ろう。」です。</p> <p>「きせつとあそぼう」のがくしゅうでたのしかったことやきづいたことをふりかえろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春は、タンポポが、たくさん咲いていたよ。 ・春は、草むらで、テントウムシを見つけたよ。 ・夏は、セミが、いっぱい鳴いていたね。 ・夏は、水で遊ぶと、冷たくて気持ちよかったね。 ・秋は、イチョウの葉っぱが黄色になっていたね。 	<p>◆「きせつとあそぼう (はる)」「きせつとあそぼう (なつ)」「きせつとあそぼう (あき)」「きせつとあそぼう (ふゆ)」の学習で用いたワークシート(あるいはノート)</p> <p>㊟春・夏・秋・冬、それぞれの季節において、学校や校区で撮った写真資料</p>	<p>*既習事項(学習での気づき)を振り返ることで、冬見つけへの関心をもつことができるようにする。</p> <p>㊟春・夏・秋・冬、それぞれの季節において、学校や校区で撮った写真資料を板書に示すことで、「きせつとあそぼう (はる)」「きせつとあそぼう (なつ)」「きせつとあそぼう (あき)」「きせつとあそぼう (ふゆ)」の学習で気付いたことを想起することができるようにする。</p> <p>○「きせつとあそぼう (ふゆ)」の側面掲示を振り返るように伝える。</p>

2 単元「きせつとあそぼう」で学び、楽しかったことや気付いたことを「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」にかきましよう。

3 「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」をもとに友だちと交流する。

- ・秋は、どんぐりを回して遊んだね。
- ・冬は、伝承遊びをしたね。
- ・冬は寒いけれど、「こま回し」や「だるまさんが転んだ」をすると楽しかったね。

□「きせつとあそぼう」のがくしゅうでたのしかったことやきづいたことを「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」にかきましよう。

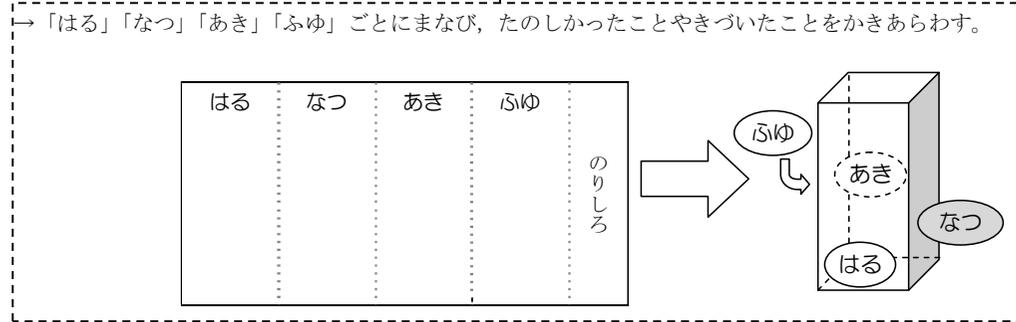
- ・「しゅんかしゅうとう」って何だろう。
- ・春・夏・秋・冬のことだよ。
- ・なるほど。春・夏・秋・冬のことをかくだね。

□「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」にかいて気付いたことを友だちに紹介ましよう。

- ・ぼくは、はる、なつ、あき、ふゆでいえやがっこうのまわりのけしきがかわったり、あそびがちがったりすることにきづきました。
- ・わたしは、はる・なつ・あき・ふゆのきせつがあつていいなあということにきづきました。だって、きせつにあつたしぜんを見ることができたり、あそびができたからです。

㊦きせつとあそぼう「しゅんかしゅうとう」カード

㊦「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」の使い方及びどのような形になるのかを見通したうえで、活動に取り組むことができるようにする。



【身近な環境や自分についての気付き】

季節によって自然の様子や生活・遊びが変わることに気付いている。

(きせつとあそぼう「しゅんかしゅうとう」カード)

○児童が紹介している（話している）内容を板書に生かし、全体に広がるようにする。

○学習後、児童が学んだことを保護者に紹介することについては、学年あるいは学級のお便り等で伝えておく。

5 板書計画

月 日 時間目 「きせつとあそぼう (ふゆ)」

きょうの「がくしゅうのめあて」… 『きせつとあそぼう』のがくしゅうでたのしかったことやきづいたことをふりかえろう。

はるの
写真資料

なつの
写真資料

あきの
写真資料

ふゆの
写真資料

- ・タンポポが、たくさんさいていた。
- ・草むらで、テントウムシを見つけた。

- ・セミが、たくさんなっていた。
- ・水であそぶと、つめたくてきもちがいい。

- ・イチョウのはっぱがきいろになっていた。
- ・どんぐりをまわしてあそんだ。

- ・でんしょうあそびをした。
- ・「こままわし」がたのしかった。

* 「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」のつかいかた

→ 「はる」「なつ」「あき」「ふゆ」ごとにまなび、たのしかったことやきづいたことをかきあらわす。

はる	なつ	あき	ふゆ	のりしろ

「きせつとあそぼう『しゅんかしゅうとう』カード」にかいてきづいたことをともだちにしょうかいしましょう。

はる、なつ、あき、ふゆでいえやがっこうのまわりのけしきがかわったり、あそびがちがったりする。

ふゆのあそびではでんしょうあそびをしました。ちいきの〇〇さんから「こま回し」をおそわって、ぼくも〇〇さんのように「こま回し」をたのしみながら、うまくなりたいとおもいました。うまくなるようになったら、1年生につたえたいです。